

令和4年度 学校経営報告書(自己評価)

学校番号	68	学校名	静岡県立磐田西高等学校	校長名	山崎 裕子
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的な生活習慣を確立するとともに、社会で通用する規範意識の育成に努める。	「『あせふこ』を意識して生活している」90%以上※1	※1 86.5% ① 91.2% ② 85.9% ③ 82.1%	B	・1年生は『あせふこ』をかなり意識して生活している。 ・コロナ禍で全校集会などがリモートとなっているため学年ごとの意識に差が感じられた。
		登校指導等の際に、個々の生徒に注意を促す。	・委員会や部活動であいさつ運動を実施した。	B	・マスク着用のため大きな声では難しいが、大半の生徒は挨拶を日常的にできるようになっている。
		遅刻をしないで「8:25朝読書開始を守っている」80%以上※2	※2 95.4% ①97.9% ②95.1% ③93.0%	A	・8割程度は8時20分には登校している。不注意遅刻生徒を皆無にはできなかったが、ほとんどの生徒が落ち着いて、朝の時間を過ごすことができている。
		清掃点検 年30回 部活動一斉清掃 年5回	清掃点検毎週金曜日美化委員会が実施。 部活動一斉清掃は4回実施(含:校内清掃・3月実施)	B	・今年度から清掃点検は美化委員会が実施することにした。 年間30回の実施はできなかったが、清掃状況はおおむね良好であった。 ・部活動一斉清掃は日程調整が難しく4回の実施にとどまった。
イ	学習習慣の形成を促す。また、基礎学力の定着を目指し、授業の改善に努める。	公開授業年2回実施 授業参観年3回以上	・中学生一日体験授業及び公開授業を実施(2回) ・授業参観週間を2回実施。校内研修として国語科・商業科の研究授業実施。	A	・中学生1日体験入学(8/5)中学生832名参加 ・公開授業(10/22)中学生226名参加 ・研究授業(国語科・商業科)は多数の教職員が参観し、主体的・対話的で深い学びを目指した、ICT活用の授業として非常に参考になった。
		「授業は分かりやすい」と答える生徒70%以上 ※7	※7 81.7% ① 82.9% ② 80.1% ③ 82.0%	A	・今年度から1年生に一人一台端末が導入された。端末を活用し、個別最適な学びを実現する授業となるように更なる工夫・改善が求められる

		測定ツールやアンケートを活用した教員70%以上	教務課が測定ツールを使い学校教育活動診断を実施。2期末に各授業担当がアンケートを実施。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの教員が、学校教育活動診断を活用し教科指導の工夫・改善に取り組んでいる。 ・2学期末に任意による授業アンケートを実施したが、来年度以降は1・2学期末に悉皆で実施する方向で検討する。
		「2時間以上自学自習している」 40%以上 ※10 ※11	※10 39.2% ① 35.1% ② 32.6% ③ 50.0% ※11 36.4%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年生は自学自習時間調査による目標に及ばなかった。 ・3年生は受験を見据えて学習時間の確保ができていたが、来年度以降は授業のあり方を含め、家庭学習への意欲を高める工夫を考えて実践していく必要がある。 ・学習支援ツールなどの活用により、自主的に学習に取り組む効果もみられる。
ウ	学科の特色を生かし、生徒の多様な学習ニーズや進路希望に対応する。	「活動を通して学力が身についた」 70%以上 ※11	※11 36.4% ① 36.8% ② 28.7% ③ 43.9%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生に対して「進路別対策講座」を実施した。(公務員講座、面接講座など) ・多くの教員の協力を得られ、就職希望者は100%の内定率となった。 ・家庭学習の習慣を身に付けさせ、基礎学力を向上していくことが課題となっている。
		「総合探究は進路意識の向上に役立っている。」 70%以上※13	※13 76.9% ① 82.4% ② 77.6% ③ 70.6%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は達成できた。昨年度より意識が高まっている。 ・コロナ禍で活動に制限があるため、地域探究や国際探究について、現状を踏まえた計画の改善が必要である。
		生徒一人当たりの年間読書7冊以上 ※25	※25 53.2% ① 57.7% ② 55.0% ③ 46.5%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期終了時点で7冊以上読んでいた生徒は25%で、全体の平均は5.0冊であった。どちらの値も昨年度より低下しているため、読書の推進により一層の工夫が必要である。
		1年生で全商簿記2級、情報処理合格者90%以上	合格率 簿記1級会計45% 情報処理2級73%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・全商会計42.4%、原価計算74.7% ・簿記2級92% ・全商情報処理2級89.3% ・取り組みは良好であり、来年度も高い合格率を維持する。

様式第3号

エ	人権を尊重し、他を思いやる姿勢を土台に、人間関係形成能力を身に付ける。	意識が向上した生徒 75%以上、 教員 95%以上 ※20	※20 89.9% ① 92.9% ② 91.2% ③ 85.6%	A	・生徒は講座や授業を通して意識の高揚ができています。 ・職員会議などで毎月人権に対する研修などを実施した。
		「職員は生徒の体や心の健康に気を配っている」 70%以上 ※22	※22 66.1% ① 66.1% ② 66.1% ③ 66.3%	B	・学年との連携を密にし、悩みを抱える生徒の早期把握に努め、支援を必要とする生徒全てに対応することができた。 相談室来室やスクールカウンセラーとの面談希望者、長欠者や心身の不調による遅刻や保健室来室回数が多い生徒、支援アンケートで問題がうかがえた生徒への対応は100%で、支援を継続することができた。
オ	地域・社会に視野を広げ、自らの夢を描き、努力を重ねる姿勢を育む。	「地域ボランティア等に年1回以上参加した」 40%以上 ※17	※17 41.2% ① 48.1% ② 43.2% ③ 32.0%	A	・コロナ禍の中では、積極的に地域イベント等に参加することは難しかったが、市主催の「いわた高生まちづくり研究所」へ参加したり、運動習慣を推進するアプリのしぐみを大学教授の助言などを受けながら考え、発表するなど、次年度へと繋がる学びができた。
		外部人材を活用した事業が行われている。	1年生 東京研修 企業訪問・大学訪問実施 2年生 地域探求 フィールドスタディ 企業訪問実施	A	・1年生の東京研修の事後アンケートで、満足度・充実度はいずれの項目も90%を超えた。進路学習としての成果もあげている。 ・2年生地域探究では、フィールドスタディによる地域と企業の結びつきを理解することができた。 企業訪問・事前事後学習、発表活動が、進路意識の高揚に結び付くことが期待できるが、プログラムに時間的余裕をもたせ、じっくり活動したかった。
		「社会貢献活動への参加」 60%以上 ※17	※17 41.2% ① 48.1% ② 43.2% ③ 32.0%	A	・台風15号の災害ボランティアとして部活動単位でも積極的に活動を行った。 ・コロナ禍であったが、部活動単位で地域でのボランティア活動を実施できた。
カ	保護者や地域社会から理解される学校を目指して、積極的な情報発信を行う。	週1回のホームページの更新	学校ホームページの更新は週1回以上できた。	B	・学校ホームページを週1回以上更新でき、ある程度は広報活動ができた。各部署で記事の作成担当は決まっているが、積極的な記事掲載はできていない。
		目的がはっきりとした印刷物が配布されている	各分掌（保健室・進路課・教務課など）から	A	・必要な連絡が保護者に伝わるように、配布文書や絆メールを活用した。また、学校ホームページで学

様式第3号

		る。	必要な通知を工夫して配布		校の様子を伝えた。
キ	生徒・教職員の生命・安全を守る教育を推進する。	「災害時に対応できると思う」75%以上 ※18	※18 81.2% ① 79.9% ② 83.7% ③ 80.3%	B	・校内防災訓練もコロナのため実際の避難を伴う訓練は出来ていないが、2学期までで2回にわたって防災学習を行い、生徒たちの意識と対応のための心構えは概ねできたものと思われる。
		地域防災訓練参加者 70%以上	地域防災訓練参加率 43%（実施できた地域）	A	・コロナ感染拡大のため、各地域で中止・制限開催となったことを理由に 30%の生徒が不参加となった。
		月例点検・管理職点検が行われている。	生徒の怪我等の発生ゼロは達成できた。	A	・安全点検表を作成し、随時、また荒天時又は台風時等には重点的に巡視できた。
		「交通ルールを遵守している」90%以上 ※20	※20 96.9% ① 98.3% ② 98.2% ③ 94.3%	B	・自転車の乗り方について地域からの注意を受ける事もあるが、目標は概ね達成している。交通事故に関しては大小合わせて 10 件前後あるため、今後も啓蒙が必要である。
		「健康に関する講座を通して意識が向上した」80%以上※22	※22 92.5% ① 95.4% ② 95.6% ③ 86.4%	A	・生徒の意識向上が 92.5%であり、来年度も継続して行っていく。
ク	質の向上や効率化を目指した業務改善を積極的に行う。	話し合う機会の設定 年 2 回以上	・学期はじめに分掌会議を設定した。	A	・各分掌とも、設定されている会議以外にも積極的に会議を行い情報共有と情報交換をした。
		「部活動に積極的に取り組んでいる」※15 90%以上	※15 90.2% ① 95.8% ② 85.0% ③ 89.5%	A	・感染症対策を十分に行い、練習試合や遠征・合宿なども実施することができた。
		生徒下校時刻を守らせるとともに遅くも 9 時前の退庁を徹底する。	9 時以降の退庁 14 日/月 時間外勤務 80 時間以上/月 6.4 人/月	B	・かなり意識して定時退勤への呼びかけを行ったが、教科・学年・分掌などの仕事量が多い時期に部活動まで行くと徹底が難しい。